

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

現職検事に学ぶ 미래이학

司法制度改革の大きな潮流を体感

1月23日(金)、京都地方
検察庁総務部長の新倉英樹検
事による特別講義「法学セミ
ナー」を本校視聴覚教室にお
いて開催しました。昨年度に
引き続き、2度目の企画とし
て、本年度はFMキャス

ルの番組で講演会の開催を取
り上げていただき、放送を通
して市民の皆さんにも参加を
呼びかけ、市民の方を交えた
講演の機会となりました。

講師の新倉検事は、これま
で、TV等において時折耳に
します、東京地方検察庁特別
捜査部(東京地検特捜部)に
勤務されたほか、裁判官の研
究・修養、司法修習生の修習機
関でもある司法研修所で教官
として人材育成に携わってき
ておられます。また、各地の
大学での講義も担当されるな
ど、多彩な活躍をされている
方で、今回の講演会では大き
く2つのテーマについてお話
いただきました。



後半では、検察官の職務と
役割、日常業務についてお話
していただくとともに質疑応答
の時間として、生徒が事前に
提出させていただいていた質
問の一つ一つに丁寧に答えて
いただきました。質問への回
答を通して、さらに一歩踏み
込んだ内容についても触れて
いただき理解はいつそう深ま
りました。

将来、この講演会がきつか
けとなり、日本の法令や司法
制度に関心を広げ、法学部へ
の進学、さらに法曹界の未来
に資する人材が文理科学科の
中から巣立ってくれることを
願う一日でした。



(南陵中学校出身)

今回は検事さんが講演され
るので普段聞けない話が聞け
ると思い、とてもわくわくし
ていた。話は裁判員制度が中
心だった。私はまだ選ばれる
権利がなく、制度についてあ

まりよく知らなかったので改
めて学ぶことができた。裁判
と聞くと、自分の中ではほど
遠い存在のように感じていた
が、とても身近に起こってい
ることなんだなと思った。今
まで裁判員制度は人の罪を自
分で決めるので気が重いと感
じていたけど、実はそんなこ
とはないんだとわかった。検
事さんの仕事は苦しいことは
かりで大変だと思っていたけ
ど、10のうち1つうれしいこ
とがあると、また頑張ろうと
いう気持がするとも言われて
いたので、すごく良い仕事な
んだなと思った。検事さんの
話はおもしろくてとてもわか
りやすかった。

(桃映中学校出身)

今日は法学セミナーという
ことで、裁判に関する話をた
くさん聞く貴重な経験ができ
た。今日の話の中心ともなっ
た裁判員制度については前か
ら少し興味を持っていたの
で、今日詳しく聞くことができ
て本当に良かった。なぜ裁
判員制度が取り入れられたの
か、どのようにして裁判員が
選ばれるのか、どんな形で判



講演の内容を熱心にまとめる生徒